

埼玉県
HOPE賞受賞市町村



都幾川村

☆ 都幾川村 ☆

木を活かした施設づくり（一連の作品）



事業種別

木を活かした施設づくり（一連の作品）



事例その2 八高線 明覚駅新築工事

事業概要

昭和63年11月JR明覚駅は、火災により焼失した。

村では「木の村」「建具の里」のコンセプト及び昭和63年度策定の都幾川村HOPE(地域住宅)計画 ときがわから、日本の風土、日本人の感性に合った木住文化を発信し、都幾川村らしい木住産業を再生し、豊かな居住空間と、村での魅力ある暮らし方を創造していこうとする計画によりJRに木造で建設することを強く陳情した。

協議の結果、村の木材を提供し、村の職人の手により平成元年現在の建物が完成した。

このことは、地場産材の有効活用をはじめとして、“木のむらの家マーケティング構想”の実現に向けて一歩を踏み出す契機となった。

さらに村の施工による、駅舎と一体となったデザインの木造公衆トイレにより、優れた景観を生み出し「木の村」の発信基地としての役割を果たしている。

この駅舎は平成9年「関東の駅100選」に選ばれ、村の玄関口として訪れる人々から好評を得ている。

計画概要

木造平屋建ファルトシングル葺 190.8㎡

事業実施場所 埼玉県比企郡都幾川村大字番匠
字宿475-2

事業種別 駅舎

事業制度 公営住宅事業

事業主体 東日本旅客鉄道(株)高崎支社

事業実施年度 平成元年度



東京都
HOPE常愛常市町村



公営住宅でつなぐまちづくり (桜丘一連の地区)



事業概要

計画の目的

残された緑の資源を生かしつつ、徐々に進行する市街地化に対して、住宅・住環境の整備の観点から、これを計画的に誘導する。本計画は、地区の将来の姿を想定し、地区住民の創意あるまちづくりと主体性に期待しつつ、これを区がバックアップするという、住民と区との協働によるまちづくり目標の確立を意図している。

都営住宅の建替改善

- 桜丘5丁目団地：HOPE計画の趣旨に合った公的住宅を実現するため、都に対して設計提案を行った。提案の中で周辺施設（公園・プロムナード）との一体整備を図っている。
- 桜丘2丁目団地：『桜丘2丁目西地区街なみ整備促進事業地区』の拠点施設にあたり、まちづくり協議会の中で、設計提案を行った。区内の都営住宅の中で特に地域住民の意見が反映された計画となっている。団地内公園については、住民参加によるワークショップによって設計を行った。

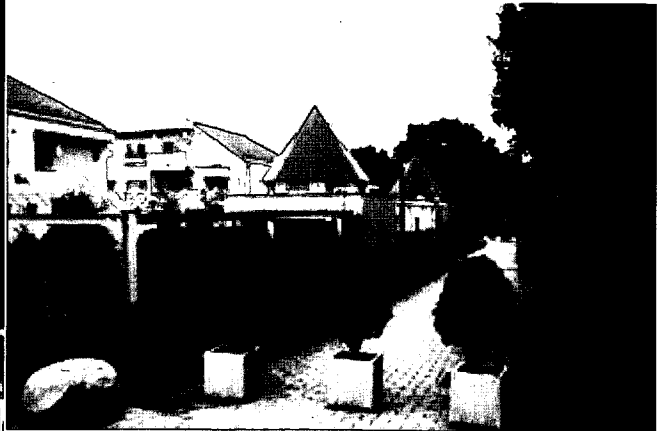
ソフトなインフラをめざすプロムナード整備

都の都市美モデル地区の指定を受けて、桜丘区民センターの建設に併せて周辺プロムナードを一体的に整備した（S58～S62）。
また、桜丘2丁目団地の建替えを契機として、地区のプロムナード及び小広場の整備、緑の保全育成を行った（H3～H11）。

地区特性と居住形態を考慮した住宅・街区整備のガイドライン設定

- 『世田谷区桜丘地区住宅・まちづくりガイド』の作成：桜丘地区の現況調査結果を踏まえ、住宅地、農地、空地、商店街での建替えの基本的なルールやマナーのパンフレットを配布し、住環境の意識向上の啓発を行っている。
- 桜丘3丁目松が根地区建築協定の締結：地元で環境意識の高まりをみせ、平成元年に協定締結に至った。協定では、用途、建蔽率、容積率、地盤面の高さ、壁面後退、建物の最高高さ、敷地あたりの戸数、戸当たり床面積について制限している。
- 『桜丘住宅・まちづくり通信』の発行：桜丘各地区で展開している住宅・街づくりの紹介や環境を考えた住宅の新築や建替えのマナーの啓発を行った。
- 『桜丘2丁目西地区街なみ整備促進事業』：桜丘2丁目団地の建替えを契機として、地区のプロムナード及び小広場の整備、緑の保全育成など街区の特性に合わせた良好な住環境の形成と快適な買い物空間の確保による商店街の活性化を目的として、「街並み整備促進事業」（現「街なみ環境整備事業」）を導入した。

平成2年7月に桜丘2丁目西地区まちづくり協議会が発足し、以来月1回の会合や街づくりイベントの開催等を通じて、身近な街の改善や提案の検討、街づくりの意識の醸成、地区住民の交流等活発な活動を展開している。



事業実施場所 世田谷区桜丘1～5丁目地区全域
事業種別 住宅団地、通路
事業制度 公営住宅建替事業、街なみ環境整備事業、建築協定、世田谷区街づくり条例に基づく「街づくり計画」
事業主体 世田谷区、東京都
事業実施年度 昭和58年度～平成11年度

計画概要

(1) 都営住宅の建替え改善

団地名	敷地面積	戸数	階数	間取り
桜丘二丁目団地	3512.09㎡	27戸	筋3	2・3DK
桜丘五丁目団地	3890.19㎡	30戸	筋3	3DK

(2) ソフトなインフラをめざすプロムナード整備

街なみ整備促進事業	
道路空間の整備	375m
広場の整備面積	721.31㎡
街づくり協定締結面積	3.4ha

(3) 地区特性と居住形態を考慮した住宅・街区整備のガイドライン設定

- ①『世田谷区桜丘地区住宅・まちづくりガイド』の作成
- ② 桜丘3丁目松が根地区建築協定の締結
- ③『桜丘住宅・まちづくり通信』の発行
- ④『桜丘2丁目西地区街なみ整備促進事業』



新潟県
HOPE新保新井町村

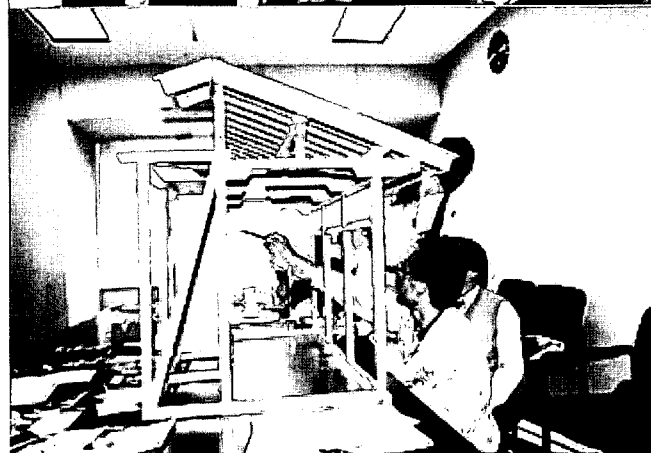
よったかり活動



事業概要

平成5～6年度 HOPE計画策定
平成8～10年度 HOPE計画推進事業

- 栃尾市地域住宅計画（HOPE計画）を計画的に推進するために、各部門のリーダーと学識経験者・民間企業・各団体・行政からの代表が集まり、今後の推進・調査研究・協議などまちづくりの方向性を決めていく。
- まちづくり推進協議会を発足し活動を展開。
- 「HOPE計画推進事業3年間のあゆみ」のとおり



計画概要

栃尾市のHOPE計画は、「よったかり」をキーワードに、栃尾の自然・伝統・文化・産業などの特性を生かしながら、住みやすい住宅や地域に根ざした住宅環境を創造するまちづくり計画です。この計画では「よったかり」の場となる種子(たね)を探し、その魅力を高めていくことをポイントにしています。

「よったかり」とは、栃尾の方言で「寄り集まる」ことを意味します。囲炉裏(いろり)に集まる家族。これが「よったかり」の原点です。栃尾のまちづくりは「よったかり」を出発点としています。囲炉裏や縁側での家族や隣近所のよったかりから、雁木、公園、集落、まち全体へと無限に広がる「よったかり」の種子(たね)から、4つのテーマが見つかりました。「道」「水」「場」「緑」の4つの観点からまちを見つめ直し、栃尾の未来を考えていきます。

テーマ「道」

(例) 雁木・路地・商店街・橋・散 歩道・通学路など

- 街路樹と花が目を楽しいけやき通り
- 城山に通じる遊歩道
- 昔ながらの雁木を残しながら少しずつ変わってきた大町の雁木通り

テーマ「水」

(例) 河川・池・沼・田んぼ・水路・井戸・流雪溝など

- 全国名水百選に選ばれた杜々の森
- 8月7日の石積み

テーマ「場」

(例) 住まい・バス停・公園・祭り広場など

- 秋葉公園にはたくさんの方が訪れます
- 道院のグレステンスキー場

テーマ「緑」

(例) 山・森・林・農作物・記念樹・プランターなど

- 田植え・稲刈も栃尾の風物詩
- 上杉謙信ゆかりの栃尾城跡(城山)

事業実施場所 新潟県栃尾市

事業種別 住宅団地 個人住宅(雁木含む)
公共施設(よったかり場)

事業制度 公営住宅事業(住宅団地)

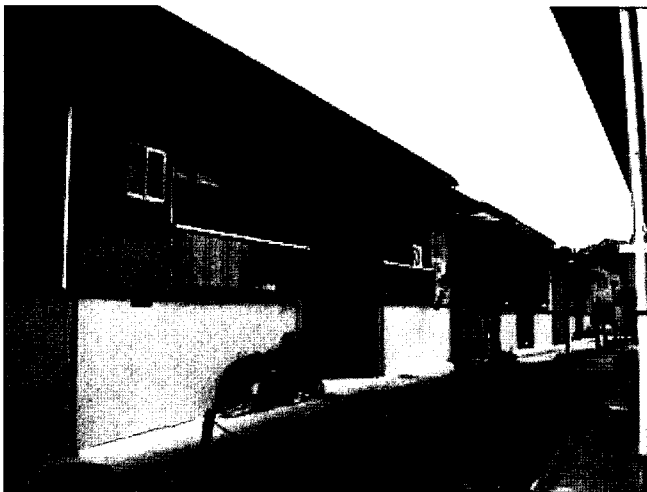
事業主体 栃尾市、民間団体(まちづくり推進協議会、表町区、よったかりうえ〜ぶ)

公営木造耐雪モデル住宅建設事業



事業概要

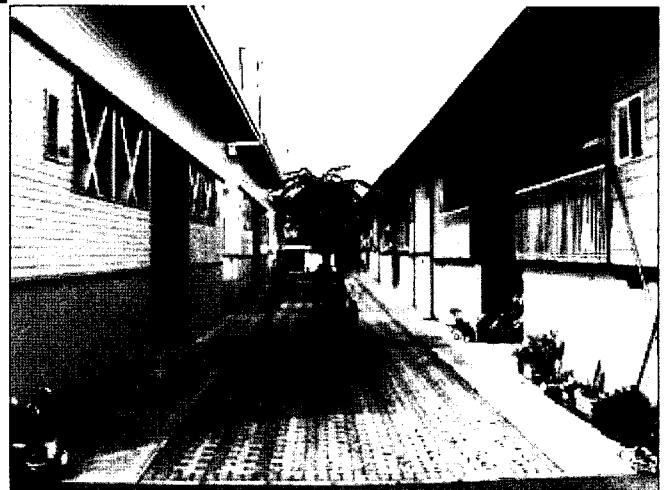
- 小千谷市では、昭和60年度建設省より地域住宅計画（HOPE計画）策定の指定を受けて「雪国にふさわしい住まいづくり」と「風土に根ざしたまちづくり」をテーマに自然、伝統、文化、産業などの地域の特性を生かしながら、将来に継承し得る質の高い居住空間整備と、良好な地域社会の形成を図ろうと小千谷市HOPE計画を策定しました。翌昭和61年度に、HOPE計画推進事業として公営木造耐雪モデル住宅建設事業の計画を決定し、設計に着手、昭和62年度・平成4年度・平成6・7年度に建設工事を行い完了いたしました。
- この事業の目的は、雪下しのいらぬ木造住宅の建設、木造耐雪住宅での住まい方の研究であります。又、建設においては、地元組合組織の参加により、木造需要の振興と地元耐雪技術の向上を図ろうといたしました。



計画概要

敷地面積	2842.9㎡
建築面積	902.1㎡
延床面積	719.64㎡
構造	木造高床平家建（戸当り住戸専用面積59.97㎡）
特長	木造耐雪3m構造

事業実施場所	小千谷市上ノ山2丁目3番21	
事業種別	公共施設	
事業制度	公営住宅建設事業	
事業主体	小千谷市	
事業実施年度	第1期：S62	1棟2戸建 計2棟4戸
	第2期：H4	1棟2戸建 計2棟4戸
	第3期：H6・7	1棟2戸建 計2棟4戸
	計	6棟12戸





八尾町

雲山縣
HOPE 雲山縣八尾町

上野かざみ台住宅団地造成事業



事業概要

- 計画の目的：八尾型モデル住宅団地の建設
- 特殊工法、伝統工法：
八尾和紙を挟む複層ガラス、出し梁工法等による屋根（軒部分）
- 地域の活性化：人口増の促進、地元建築関係業者の共同施工
- 地域人材の活用や地域人材の育成：
地元工務店協会（八匠）を組織し伝統工法による八尾型モデル住宅団地の建設による技術の継承が行われた。このことにより、その後八尾町では約100戸（平成14年度末）の八尾型住宅が建設された。
- 気候風土に関する工夫：
八尾の石垣景観を取り入れた自然玉石積の擁壁、伝統的在来工法による耐雪住宅



計画概要

- ・敷地面積 22,757㎡、35区画
 - ・平均面積 330㎡/区画
 - ・建築協定 上野かざみ台建築協定
 - ・地元建築関係者“八匠”による八尾型モデル住宅団地の建設
 - ・八尾町地域住宅相談所の開設
 - ・町民会議共催
- 事業実施場所 八尾町福島上野
事業種別 住宅団地
事業制度 ウッドタウンプロジェクト推進事業
事業主体 八尾町工務店協会（八匠）
事業実施年度 平成元年度～平成3年度



魅力あるまちづくり事業基本計画



事業概要

- 計画の目的：中心市街地の居住環境整備
- 背景
 1. 八尾町の中心市街地にある住宅は間口が狭く、空家または空地が発生し、町並みの連担性を失いつつあった。
 2. 道路拡幅事業の際に住宅前面を切取ったため、町並み景観が崩壊していた。
 3. 昭和61年諏訪町本通りが「日本の道100選」に選ばれたことや、また、HOPE計画による町並み復権を目指し街路整備を行う。
- 特徴
 1. 電柱を表通りから裏通りに移設し、無電柱化し、木製街灯と石製足元灯を設置する。
 2. 道路側溝を流雪溝と玉石洗い出し側溝にして、せせらぎの音の演出。蓋には曳山の車輪と町の花である椿をデザイン。
 3. ポケットパークとして防火水槽の上にベンチや案内看板、植栽、石張り舗装を施す。
 4. 道路は御影石4色をランダムに石張りとしている。

計画概要

街路事業：

諏訪町本通線L=640m、若宮線L=320m

石張り舗装、ポケットパーク3箇所、流雪溝、木製街路灯、石製足元灯

魅力あるまちづくり事業：

ポケットパーク 4箇所、無電柱化、下水道整備

事業実施場所 八尾町諏訪町

事業種別 道路

事業制度 歴史的地区環境整備街路事業、魅力あるまちづくり事業

事業主体 八尾町

事業実施年度 平成元年度～平成10年度



歴史的地区環境整備事業



事例その1

事業概要

- 計画の目的：井田川の周辺景観整備
- 背景
 1. 八尾町は、井田川の氾濫によって町立ての歴史を持つように、井田川との関係が深く八尾町のランドマークとして親しまれている。
 2. 同地区に昭和40年代に急傾斜地の保全事業でつくられた石積擁壁は、町を代表するシンボリックな景観として地域住民や観光客に親しまれている。
 3. この石積擁壁は老朽化が進行し、早急な補強・補修が必要であるため、集落を結ぶ階段や道路と併せた、井田川周辺景観整備を行った。
- 特徴
 1. コンクリート擁壁の表面を玉石で覆い、石積み風に仕上げている。
 2. 極力緑地を保存するよう配慮し、斜面の安定化とともに、うるおいとやすらぎの斜面空間を創出している。



計画概要

工事概要：玉石ブロック積擁壁工事

施行規模：延長約280m 幅約200m 高さ10～20m

事業実施場所

八尾町西町、今町、下新町

事業種別

石積擁壁

事業制度

急傾斜地事業

事業主体

八尾町

事業実施年度

平成7年度～平成13年度

事例その2

事業概要

- 計画の目的：井田川の周辺景観整備
- 特徴
 1. 老朽化に伴う橋梁の架け替えにあたり、HOPE計画の「井田川周辺景観整備」の趣旨に基づき「橋にも文化性を」をテーマにデザインを一般公募し、特選作品のデザインを基本に歩道専用橋として整備した
 2. 小・中学校生及び高校生等が毎日通学路として安全に・楽しく利用でき、中心市街地の石垣景観にマッチした町のシンボルとなる魅力と憩いのある橋梁となった。
 3. アルミ鋳物製おわら踊りのレリーフを高欄に展開
 4. アルミ鋳物製おわら編み笠型の照明を設置

計画概要

工事概要：玉石ブロック積擁壁工事

施行規模：延長約280m 幅約200m 高さ10～20m

事業実施場所

八尾町西町、福島

事業種別

橋梁

事業制度

町単独橋梁維持補修事業

事業主体

八尾町

事業実施年

平成2年度～平成3年度





白峰村

石川県
HOPE黨受黨市町村

伝統環境保全事業



事業概要

白峰村の伝統環境を自らの手で守り育てる条例に基づき、村内における建築物及び屋外広告物等の伝統環境に配慮した整備事業に対し、伝統環境保全助成金を交付する。

計画概要

白峰村の個性豊かな伝統環境を、村民のふるさとを愛する心の高まりにより、一人一人の手で育て、より快適で誇り高いふるさとを作り上げ、次代の村民に引き継ぐことを目的とし、条例の中で村長の責務、村民等の責務を掲げている。



事業実施場所	白峰村内全域
事業種別	
事業制度	白峰村の伝統環境を自らの手で守り育てる条例
事業主体	白峰村
事業実施年度	平成2年3月31日施行



大野市

福井県

HOPE事業市町村

御清水周辺整備事業



事業概要

日本名水百選の一つに選ばれた御清水は、良質な地下水が湧出しており、地域の人々に洗い場などとして親しまれてきた。老朽化した鉄骨造りの雨よけを景観に配慮した木造造りへと改修した。



計画概要

御清水屋根 $3 \times 29\text{m} = 87\text{m}^2$

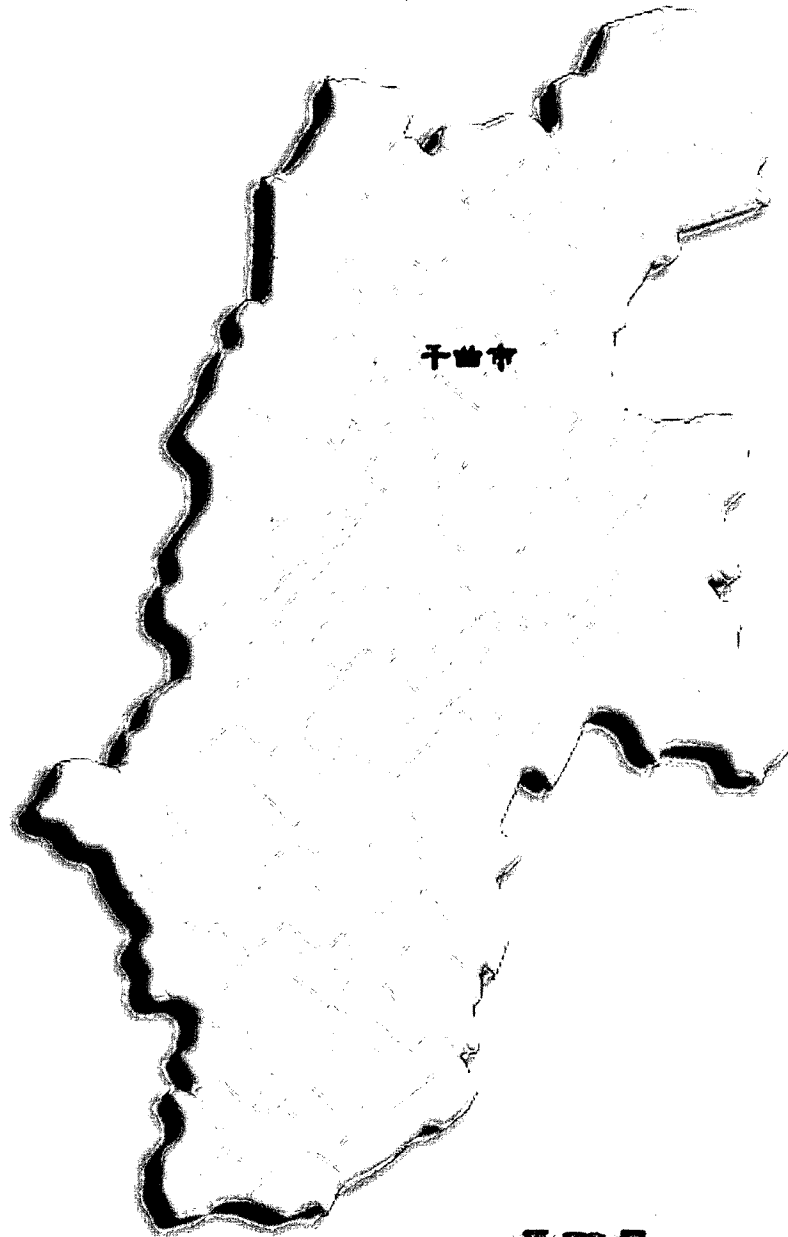
事業実施場所 大野市泉町

事業種別

事業制度 大野市HOPE計画

事業主体 大野市

事業実施年度 昭和62年度



千曲市

長野県

HOPE黨受審市町村

稲荷山土壁の街整備基本計画



事例その1

事業概要

- 昭和62年度から昭和63年度にかけて推進事業の一環として土壁造りの街並みを生かした住宅地景観の誘導を図るため「稲荷山土壁の街整備基本計画」を策定。
- まちづくりの核施設をつくる目的のひとつとして、蔵のまち稲荷山にふさわしい蔵造りをモチーフとした、稲荷山出身の政治まんがの第一人者近藤日出造氏の記念館として建設。



計画概要

- 「更埴ふるさと漫画館」
- 敷地面積 1,625.34㎡
- 建築面積 254.34㎡
- 延床面積 400.40㎡
- 構造 木造
- 階数 2階

事業実施場所 千曲市大字稲荷山
事業種別 公共施設
事業制度
事業主体 千曲市

事例その2

事業概要

- 昭和62年度から昭和63年度にかけて推進事業の一環として土壁造りの街並みを生かした住宅地景観の誘導を図るため「稲荷山土壁の街整備基本計画」を策定。
- まちづくりの核施設をつくる目的のひとつとして、空家となっていた建物・蔵をまちづくりの観点から活用を図り、幕末から明治にかけて生糸輸出の先駆者となった松林源之助の邸を修復・再現した。当時の商家の建築様式を伝え、民俗資料を展示している。

事業実施場所 千曲市大字稲荷山
事業種別 公共施設
事業制度
事業主体 千曲市
事業実施年度 平成11年度
計画概要

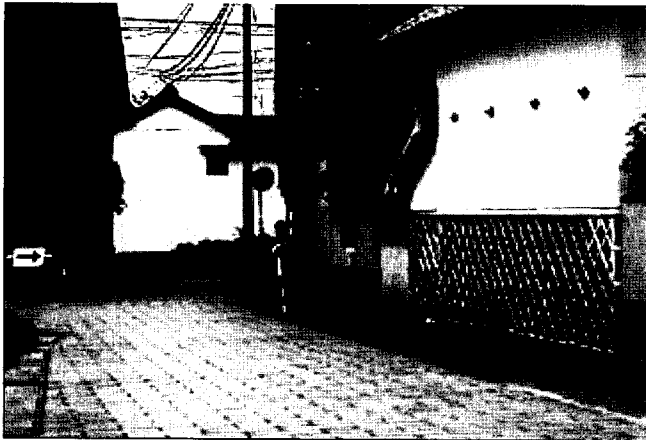
- 「稲荷山宿・蔵し館」
- 敷地面積 825.36㎡
- 建築面積 343.20㎡
- 延床面積 452.36㎡
- 構造 木造
- 階数 2階



事例その3

事業概要

- 昭和62年度から昭和63年度にかけて推進事業の一環として土壁造りの街並みを生かした住宅地景観の誘導を図るため「稲荷山土壁の街整備基本計画」を策定。
- 稲荷山に残されている歴史のみちすじの景観を保全し、安全で快適な生活の場を整備することを目的として、石畳風の特殊舗装やコンクリート二次製品を極力自然石を使う等歴史的な街並みになじむように道路改良を実施。
- 歴史的な街並みを「みちづくり」の観点から支援。



事業実施場所	千曲市大字稲荷山
事業種別	道路
事業制度	身近なまちづくり支援街路事業
事業主体	千曲市
事業実施年度	平成10年度

計画概要

- 事業延長695.3m(平成14年度まで)
- 施工概要：舗装の美装化

事例その4

事業概要

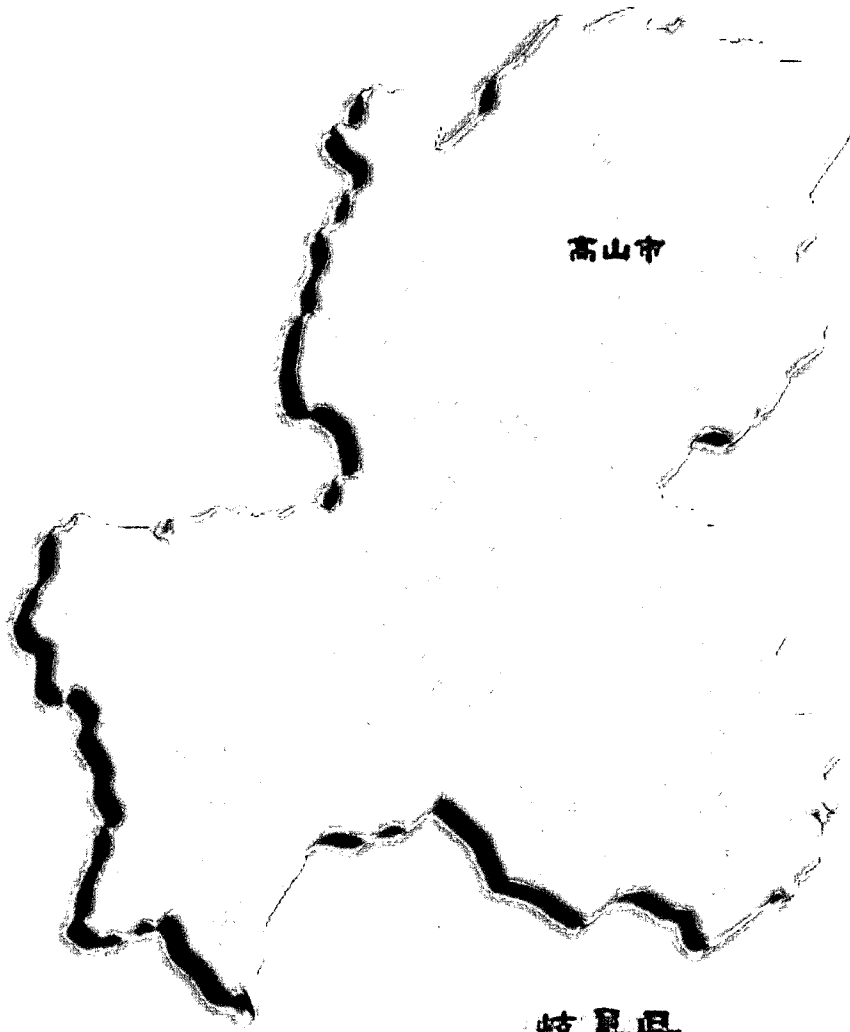
- 昭和62年度から昭和63年度にかけて推進事業の一環として土壁造りの街並みを生かした住宅地景観の誘導を図るため「稲荷山土壁の街整備基本計画」を策定。
- 伝統的な土蔵づくりの家並みを活用して沿道を整備したり、公衆トイレを土蔵をモチーフして建設した。



事業実施場所	千曲市大字稲荷山
事業種別	道路、公共施設
事業制度	花と緑の都市モデル地区整備事業
事業主体	千曲市
事業実施年度	平成2年度から平成3年度

計画概要

- 土壁の路整備
舗装の美装化 350m
- 土壁の路トイレ整備
敷地面積55.77㎡
建築面積14.9㎡
延べ面積14.9㎡



高山市

岐阜県
HOPE賞受賞市町村

☆ 高山市 ☆

住宅設計指針、ユーザーズマニュアル等の作成
(高山型住宅マニュアル)



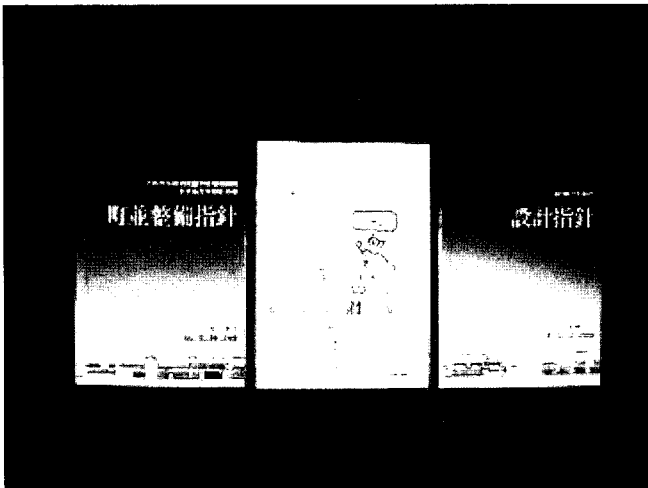
事業概要

[昭和60年度]

- ① 住宅の造り手向けの「設計指針」を作成した。
- ② 住まい手向けのマニュアル「風土にねざした住まいづくり」を作成した。
- ③ 住宅建設や住宅地開発をするに際して、町並整備に配慮してもらうための「町並整備指針」を作成した。

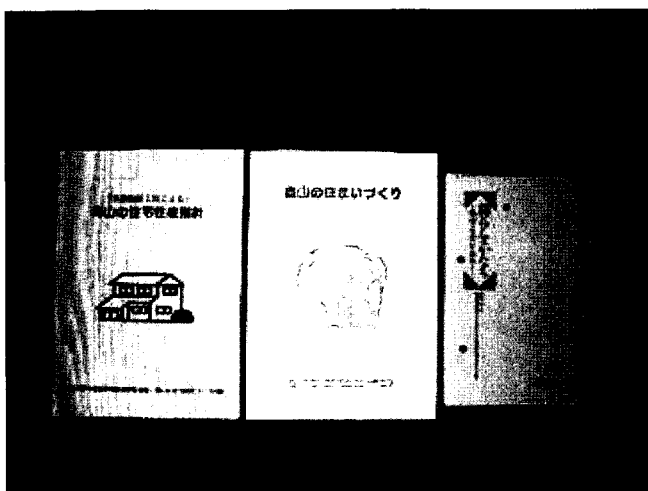
[平成10年度]

- ① 住宅のつくり手向けの冊子「高山の住宅性能指針」を作成。
- ② 住宅のすまい手向けの冊子「高山の住まいづくり」を作成。
- ③ 「高山の住宅指針について語る会」の開催（市主催：建築士、施工業者が参加して2回開催。）



計画概要

- 昭和60年度HOPE計画において、高山らしい「すまい」づくり「まち」づくりを基本理念とし、造り手と行政が協働して、高山の気候、風土を活かした住宅・住環境づくりを進めることとなった。
- 平成10年度住宅マスタープランにおいて、誰もが住みやすく住みたくなるまち飛騨高山を基本理念としつつ、造り手と行政が協働して、昭和60年度HOPE計画以降に向上した住宅機能等をあらたな指針としてまとめた。



事業実施場所	市内全域
事業種別	住宅のつくり手及び住まい手向けの小冊子の作成
事業制度	公営住宅等関連事業推進事業
事業主体	高山市
事業実施年度	昭和60年度事業開始



静岡県
HOPE愛管市町村

☆ 大須賀町 ☆

横須賀の一連の住まいからの素朴なまちづくり



事例その1 伝統的町家 竹内邸

事業概要

伝統的町家について、町家の年代は幅広く、安政の地震後（幕末）から、戦前に建築されたものがある。さらに町家は「東国」と「西国」の2つのタイプに別れ、その2つの町家が混合した街道が、大須賀町のまちなみである。

「東国」（例 山下邸）とは、江戸を中心とした東国に多く見られ、立面では出桁造が主流で塗籠（ぬりごめ）の壁を持ち、断面では1階の庇下が外部の場合等の特徴がみられる。

「西国」（例 神谷邸）とは、京都を中心とした西国に多く見られ、2階の建具のデザインは、虫籠窓・吹寄格子が用いられ、断面では1階の庇下が内部の場合等の特徴がみられる。

大正から昭和期に増築された建築物（例 竹内邸）は、屋根の勾配を保ちつつ、新たな居住空間を積層（2・3階座敷・本格的数寄屋座敷の実現）させていることから質的・技術的な高さが見られる。

事業実施場所	大須賀町横須賀地内
事業種別	個人住宅
事業制度	
事業主体	大須賀町
事業実施年度	平成3年度～平成6年度（終了）

計画概要	
敷地面積	456.00㎡
建築面積	211.74㎡
延床面積	366.83㎡
階数	3階
構造	木造



事例その2 伝統的町屋「西国」神谷邸

事業概要

調査の結果、街道沿いの588件中、伝統的町家（176件 30%）・空き家（42件 7%）・空き地（74件 13%）・セットバックしている住宅（113件 19%）・その他（183件 31%）であり、空き家は伝統的町家であり、その他も31%と多く占めているが、ほとんどが和風住宅である。しかし、空き地とセットバックしている住宅と合わせ、全体の32%を占めており、まちなみとしては虫食いの状態が見られるのが現状である。

また、空き地・空き家の原因に世帯数の大幅な減少が考えられ、特に一地区に関しては、約20年前と比べ世帯数が半分近く減少していた。

そのため今後の課題とし、伝統的町家を残していくだけでなく、空き地・空き家の利用方法についても住民を主体とし、検討していかなくてはならない。



事業実施場所	大須賀町横須賀地内
事業種別	個人住宅
事業制度	
事業主体	大須賀町
事業実施年度	平成3年度～平成6年度（終了）

計画概要	
敷地面積	856.82㎡
建築面積	190.80㎡
延床面積	313.61㎡
階数	2階
構造	木造

事例その3 伝統的町家 改築のモデルルーム

事業概要

「快適な田園的文化都市」を目標とした、自然や伝統を住宅づくりに生かし、ただ残していくだけではなく、現代のライフスタイルを考慮しながら、創造性あふれる遠州大須賀の住宅スタイルと住み方を地域の住民で考え、親から子、子から孫へと、生涯通じて学ぶ学習のできる町づくり。

大須賀町は、伝統的な祭りが盛んな町でもあり、町中の街道をネリが引かれることから、現代の住宅では街道の面影と趣が失われてしまい、従来の住宅の特徴（外観と気候風土の利用等）をそのままに、内装よっての改修を行い、角地においては外観を町家らしく修景する等のアイデアが住民主体で考えられ、一つのモデル住宅（案）が作成された。

現在も新築の家屋が建築されることから、アドバイザーグループを結成し、住宅の相談・住民主体でのまちづくり事業を行い、城下町の街道に昔ながらの面影を残していく方法が考えられている。

事業実施場所	大須賀町横須賀地内	計画概要	
事業種別	個人住宅 (モデルとしての個人住宅)	敷地面積	200.00㎡
事業制度		建築面積	135.21㎡
事業主体	大須賀町	延床面積	167.64㎡
事業実施年度	平成3年度～平成6年度(終了)	階数	2階
		構造	木造

事例その4 伝統的町屋「東国」山下邸

事業概要

城下町の街道に並ぶ伝統的町家の残るまちなみ、及びそこに構成される町家を調査することによって、大須賀町のまちなみと町家の形体的特徴を把握する。

敷地の利用については、敷地の形は南北に縦に長く、主屋は道に接道させることが原則となっており、座席に面して坪庭（採光・通風の役割がある）があり、坪庭の奥には蔵・離れ等の付属屋がある。

住宅集合については、隣棟間隔はほとんどなく、縦長の敷地に、道路から、主屋（座敷）・庭・離れのパターンが繰り返され、帯状の町が構成されている。

まちなみの形については、屋根、庇を持ち木造である伝統的町家が、わずか全体の半分しか占めておらず、新たに建替えられる住宅の場合、前面に駐車場等の設置による大幅なセットバックという形が多く見られ、まちなみの景観を損なう原因の一つと考えられる。また、空き地や空き家も多く見られ、町並みの統一性においても問題である。

事業実施場所	大須賀町横須賀地内
事業種別	個人住宅
事業制度	
事業主体	大須賀町
事業実施年度	平成3年度～平成6年度(終了)

計画概要	
敷地面積	196.38㎡
建築面積	59.88㎡
延床面積	102.43㎡
階数	2階
構造	木造



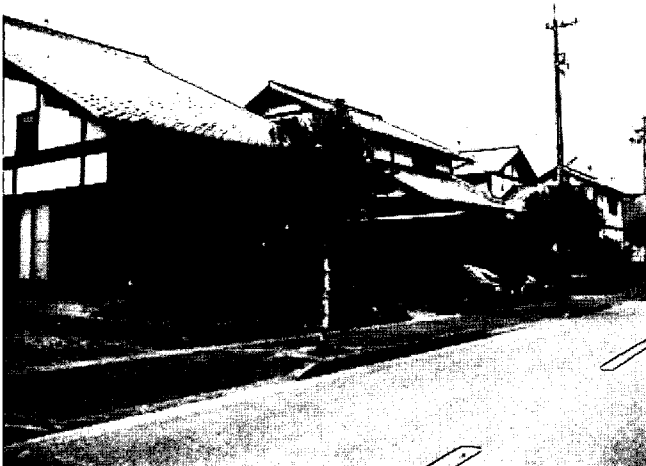
「天竜の家」山王団地建設事業



事業概要

- (計画の目的) 地域に根ざした新しい民家「天竜の家」の建設促進により、地場産材の活用と地場産業の活性化及び統一ある美しい街並みの形成を目指した。
- (伝統工法等) 当遠州地方に伝わる民家「釜屋造り」を現代風にアレンジした家くシンプルな骨組みの架構、白壁と杉板張りの家、軒の深い家>
- (地場財産活用) 杉材を主体とした天竜材を活用
- (地域の活性化) 地場産業であるプレカット加工の推進、天竜木材産地協同組合の組合員が施工

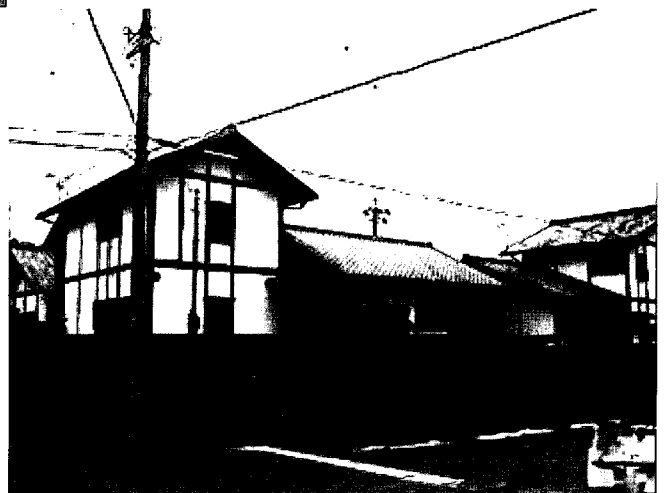
(街並みの形成) 5区画以上連たんの街区の道路に沿った敷地境界沿いに約1m幅の緑化帯(半公共空間)



計画概要

市の土地開発公社が宅地造成した住宅団地の一角を「天竜の家」建設用地として位置付け、建築条件付で土地の購入者を募った。
天竜市HOPE計画に基づく住宅づくりを行う。
5戸連たんした戸建て木造二階建住宅の群。
敷地と道路との緩衝地帯として、道路に面した敷地内を緑化(半公共空間の整備)

事業実施場所	天竜市山東字山王地内
事業種別	個人住宅
事業制度	天竜市HOPE計画(地域住宅計画)に基づく事業
事業主体	天竜市
事業実施年度	昭和59年度



「天竜の家」大谷南団地建設事業



事業概要

- (計画の目的) 地域に根ざした新しい民家「天竜の家」の建設促進により、地場産材の活用と地場産業の活性化及び統一ある美しい街並みの形成を目指した。
- (伝統工法等) 当遠州地方に伝わる民家「釜屋造り」を現代風アレンジした家<シンプルな骨組みの架構、白壁と杉板張りの家、軒の深い家>
- (地場財産活用) 杉材を主体とした天竜材を活用
- (地域の活性化) 地場産業であるプレカット加工の推進、天竜木材産地協同組合の組合員が施工

(街並みの形成) 5区画以上連たんの街区の道路に沿った敷地境界沿いに約1m幅の緑化帯(半公共空間)

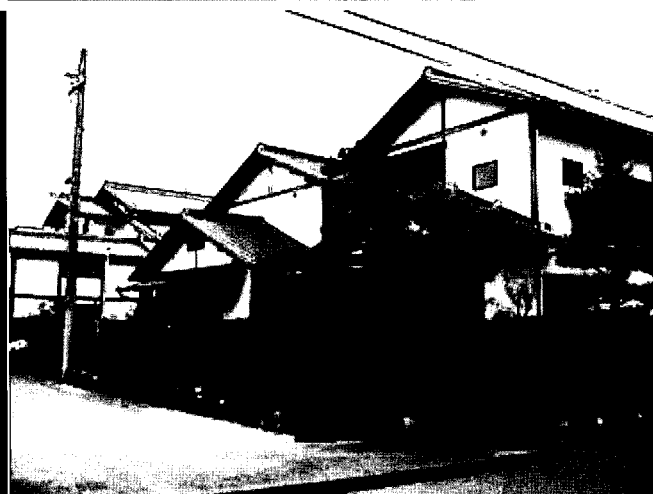
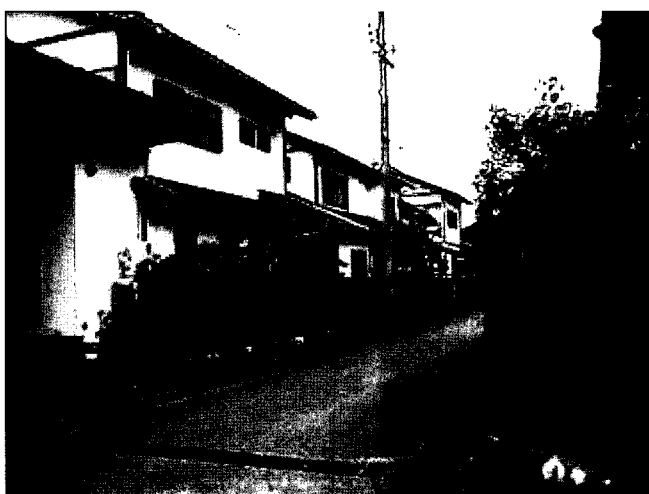
計画概要

市の土地開発公社が宅地造成した住宅団地の一角を「天竜の家」建設用地として位置付け、建築条件付で土地の購入者を募った。

天竜市HOPE計画第3団地

8戸連たんとした戸建て木造二階建住宅の群敷地と道路との緩衝地帯として、道路に面した敷地内を緑化(半公共空間の整備)

事業実施場所	天竜市大谷地内
事業種別	個人住宅
事業制度	天竜市HOPE計画(地域住宅計画)に基づく事業
事業主体	天竜市
事業実施年度	昭和62年度～昭和63年度



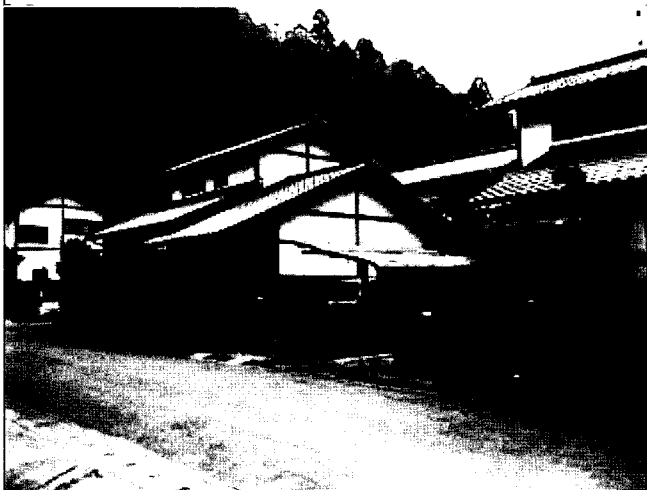
「天竜の家」大谷北団地建設事業



事業概要

- (計画の目的) 地域に根ざした新しい民家「天竜の家」の建設促進により、地場産材の活用と地場産業の活性化及び統一ある美しい街並みの形成を目指した。
- (伝統工法等) 当遠州地方に伝わる民家「釜屋造り」を現代風アレンジした家<シンプルな骨組みの架構、白壁と杉板張りの家、軒の深い家>
- (地場財産活用) 杉材を主体とした天竜材を活用
- (地域の活性化) 地場産業であるプレカット加工の推進、天竜木材産地協同組合の組合員が施工

(街並みの形成) 5区画以上連たんの街区の道路に沿った敷地境界沿いに約1m幅の緑化帯(半公共空間)



計画概要

市の土地開発公社が宅地造成した住宅団地の一角を「天竜の家」建設用地として位置付け、建築条件付で土地の購入者を募った。

天竜市HOPE計画第2団地

6戸連たんした戸建て木造二階建住宅の群

敷地と道路との緩衝地帯として、道路に面した敷地内を緑化(半公共空間の整備)

事業実施場所 天竜市大谷地内

事業種別 住宅団地

事業制度 天竜市HOPE計画(地域住宅計画)に基づく事業

事業主体 天竜市

事業実施年度 昭和60年度

愛知縣
HOPE賞受賞市町村



町営 ^{くわだわ} 桑田和 住宅建設事業



事業概要

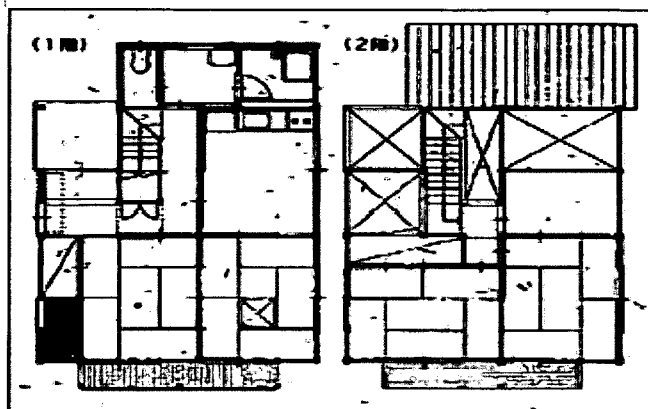
- 建築年次：昭和60年度
- 構造規模：木造2階建て 戸建て6戸
- 住戸面積：79.96㎡ 3LDK、4LDK



計画概要

足助の資源である足助産の木材（足助材）と伝統と技術を伝える人的資源（足助大工）を活用し、トータルファッションとしての家づくりを進めるため、合理的な住宅設計と部材生産・住宅供給システムを実現した民家型構法による「木住システム」を開発し、そのモデル的住宅として、町営桑田和住宅を建設した。

事業実施場所	愛知県東加茂郡足助町大字
事業種別	桑田和字清水35-2
事業制度	町営住宅
事業主体	公営住宅建設事業
事業実施年度	足助町
	昭和60年度

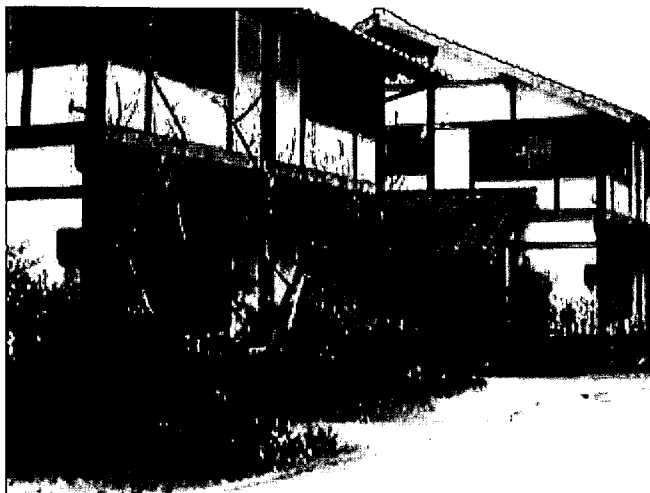


町営 千野^{ちの} 住宅建設事業



事業概要

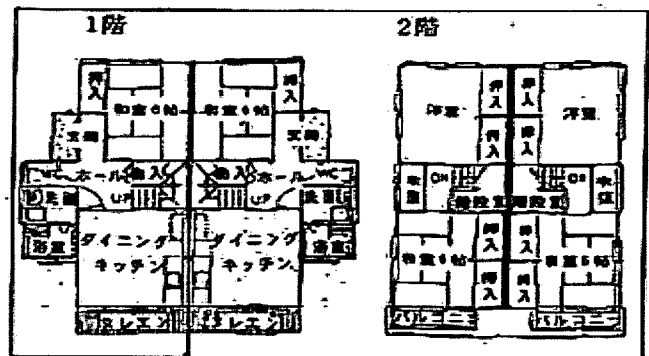
- 建築年次：昭和61年度
- 構造規模：木造2階建て 連戸建て6戸
- 住戸面積：71.28㎡ 3LDK



計画概要

足助の資源である足助産の木材（足助材）と伝統と技術を伝える人的資源（足助大工）を活用し、トータルファッションとしての家づくりを進めるため、合理的な住宅設計と部材生産・住宅供給システムを実現した民家型構法による「木住システム」を開発し、そのモデル的住宅の第2段として、町営千野住宅を建設した。

事業実施場所 愛知県東加茂郡足助町大字
千野字千ノ田11-1
事業種別 町営住宅
事業制度 公営住宅建設事業
事業主体 足助町
事業実施年度 昭和61年度



☆ 足助町 ☆

「集落コミュニティ」の創造



事業概要

三方山に囲まれた約2haの谷間の土地、高嶺下地区に農ある暮らしと新規居住者のエコロジカルな住宅開発を進める「高嶺下ファームビレッジ構想」を町が平成9年度策定し、町は構想を進める起爆剤として平成11年度に自然の斜面地形を利用した職員住宅を建築した。

[戸建てコーポラティブ]

- H10.8…拠点小屋づくり（地元推進組織「埜快」、サポーターグループ「洞を考える会」がワークショップにより実施
- H11.8～12.5…自然観察会などのイベントを開催
- H12.8～…入居希望者6世帯による暮らしイメージづくりワークショップの開催
- H12.12～13.3…町が住宅区域進入路工事の実施
- H13.7…入居希望者6世帯が住宅地整備組合設立
- H13.9～…住宅用地区画割、住宅地整備内容、資金などを検討
- H14.10…6世帯と地権者の間で住宅用地の売買契約
- H15.4～…新規入居者による住宅建設が始まる



計画概要

[高嶺下職員住宅]

建築年次：平成10、11年度

構造規模：木造2階建て 連戸建て6戸

住戸面積：76㎡ 2LDK

事業実施場所 足助町大字野林地内
事業種別 町職員住宅、個人住宅
事業制度 ①町職員住宅建築
②戸建てコーポラティブ住宅地整備
事業主体 ①足助町
②高嶺下住宅用地整備組合
事業実施年度 町職員住宅：H11年度
戸建てコーポラティブ：H12年



☆ 足助町 ☆

「木住システム」の開発



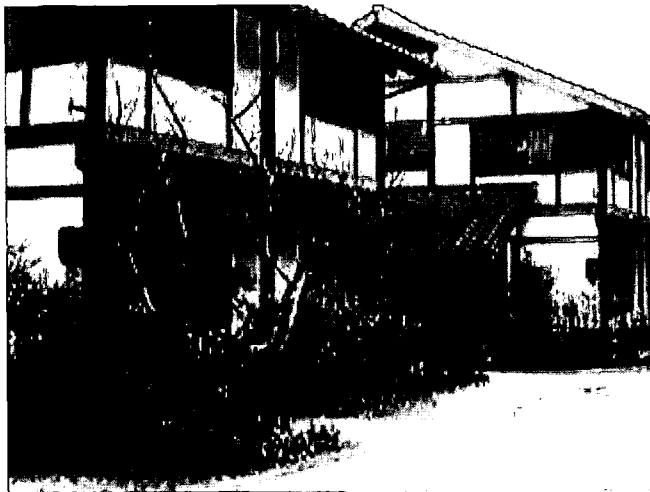
事業概要

[桑田和住宅]

- 建築年次：昭和60年度
- 構造規模：木造2階建て 戸建て6戸
- 住戸面積：79.96㎡ 3LDK、4LDK

[千野住宅]

- 建築年次：昭和61年度
- 構造規模：木造2階建て 連戸建て6戸
- 住戸面積：71.28㎡ 3LDK



↑ 町営千野住宅

計画概要

足助材と足助大工を活用した、民家型工法の木造住宅と供給システムを開発する第3セクターによる住宅建設会社「ほるくす」が設立された。

そのシステムを利用したのとして町営住宅の建設を計画した。

事業実施場所 桑田和町営住宅：足助町大字桑田和字清水35-2
千野町営住宅：足助町大字千野字千ノ田11-1

事業種別 町営住宅

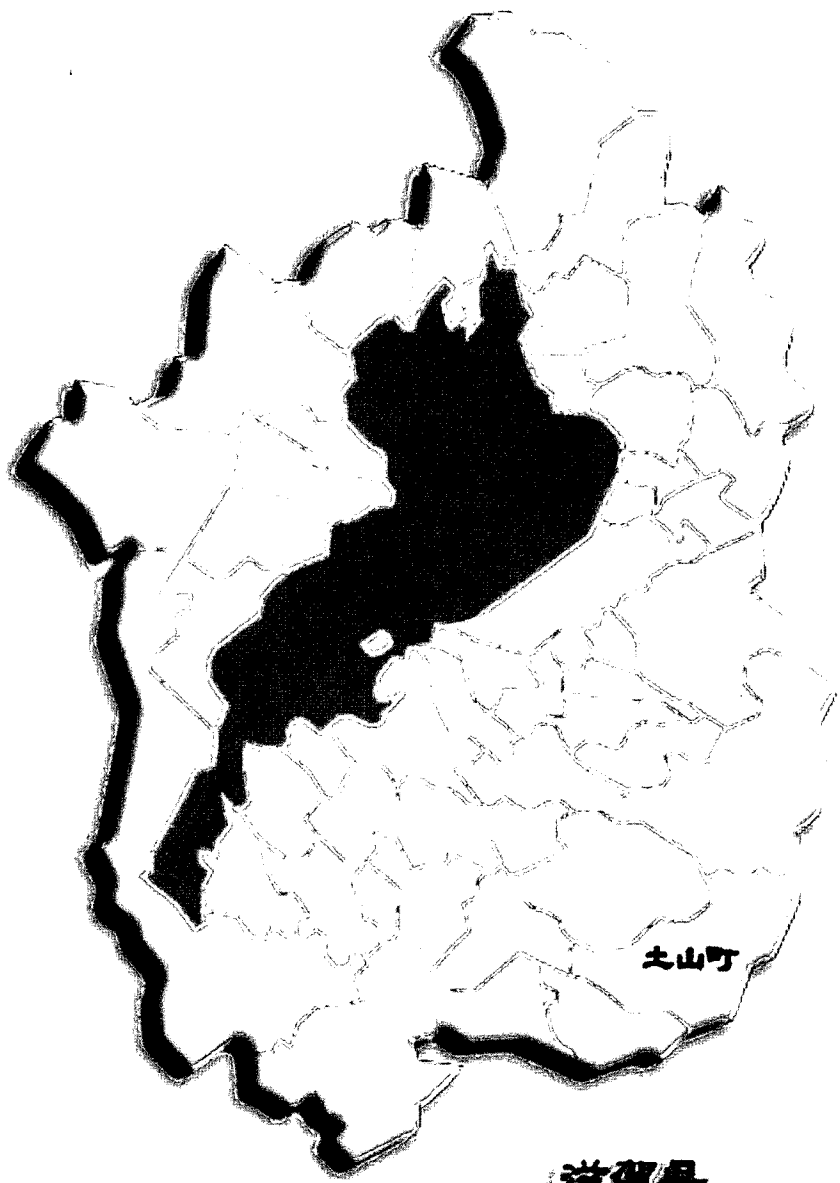
事業制度 公営住宅事業

事業主体 足助町

事業実施年度 桑田和町営住宅：S60年度
千野町営住宅：S61年度



↑ 町営桑田和住宅



大山市

滋賀県
HOPE市役所所在地

街なみ環境整備事業



事業概要

- 計画の目的
「土山の風景と環境を守り育てる条例」に基づき、土山宿らしさを活かした景観形成と、現代の生活に適した基盤整備、環境整備を行い、本事業の計画テーマである「にぎわいとやすらぎ・魅力ある土山宿の再生」の実現を目指した。
- 事業の背景
生活様式の変化に伴い、地区の歴史性が失われてきており、狭隘な道路の存在や緑の減少、河川水質の悪化等により生活環境も悪化傾向であった。そこで快適で安心して暮らせる生活環境を整えること、また、ここを訪れる人々との交流によって地域に刺激を与え、活力をもたらすことが必要であった。
- 重点事項
地域の活力源となる拠点施設整備
住民に安らぎとコミュニケーションの場を与える公園整備街なみに調和した道路空間の創出



計画概要

事業面積	44.1ha
地区内住宅戸数	397戸
公園、緑地整備	2,679㎡
下排水施設整備	4,299.3m
地区防災施設（防火水槽）	2基
生活環境施設整備	655.81㎡
水路整備	464.1m
案内板設置	9基
道路の美装化	13,549㎡
公共施設修景整備	1,504.61㎡
街路灯設置	63箇所
修景施設整備助成	8件

事業実施場所	滋賀県甲賀郡土山町大字北土山、南土山
事業種別	公園、道路、公共施設
事業制度	街なみ環境整備事業 土山の風景と環境を守り育てる条例
事業主体	土山町
事業実施年度	平成6年度～平成15年度



京都府
HOPE備受講亦町村



☆ 京都市 ☆

京都市HOPE計画モデル住宅展示場
(ハウス・ハンス・ギャラリー)



事業概要

事業目的

京都市HOPE計画の基本理念である「市民・民間事業者と連携して都市居住を推進すること」をモデル展示場を通して具体化し、京都の風土や文化に根ざした都市居住の意味・意義を啓発するとともに、展示場センターでの総合的な住宅相談業務を公社事業として展開し、市民に対する情報サービスを行う。

計画概要

敷地面積 約5,500㎡

施設概要

モデル住宅12棟、センター事務所他

事業実施場所

京都市北区衣笠

事業種別

住宅展示場

事業制度

事業主体

京都市、京都市住宅供給公社

事業実施年度

昭和63年～平成5年度

京都市HOPE計画モデル住宅展示場
(ハウス・ハンス・北山)



事業概要

事業目的

京都市HOPE計画の基本理念である「市民・民間事業者と連携して都市居住を推進すること」をモデル展示場を通して具体化し、京都の風土や文化に根ざした都市居住の意味・意義を啓発するとともに、展示場センターでの総合的な住宅相談業務を公社事業として展開し、市民に対する情報サービスを行う。

計画概要

敷地面積 約8,700㎡

施設概要

- モデル住宅7棟（都市型住宅敷地5棟）
- 一般型（住宅敷地2棟）
- センターハウス（相談コーナー、休憩コーナー、展示スペース事務室等）
- イベント広場
- 駐車スペース

事業実施場所	京都市左京区松ヶ崎壺町田
事業種別	住宅展示場
事業制度	
事業主体	京都市、京都市住宅供給公社
事業実施年度	平成5年～平成9年度

☆ 京都市 ☆

京都市住情報センター及び総合住宅展示場
(リ・ぶ・ら北山)



事業概要

事業目的

京都市住宅マスタープランに基づき市民、事業者、行政の連携による住情報の交流を促進し、高齢者にやさしい、安全、快適な住宅、ゆとりある都市居住、京都らしい良好なすまいづくりについて具体的に広く市民に住情報を提供し、もって良質で京都らしいすまいづくりを一層推進し、多様化する住宅ニーズに更にきめ細かく対応する。

計画概要

会場面積 3,547.36㎡
施設概要 モデル住宅6棟、住情報センター1棟
(平成15年6月時点)

事業実施場所 京都市左京区下鴨北野々神町20番地
他

事業種別 住宅展示場

事業制度

事業主体 京都市 京都市住宅供給公社
(株)京都すまいづくりセンター

☆ 京都市 ☆

景観・まちづくりコンクール



事業概要

■部門別に募集

○京都景観・まちづくり賞（建築物・緑地広場・土木工作物
屋外広告物）

○くらしの景観・まちづくり賞

■応募作展示

全作品を一般市民に公開

■審査

■表彰式及びシンポジウム

■コンクール記録集の作成

計画概要

京都のもつ個性、独自性を創出し、優れた都市景観の維持および向上に寄与していると認められる建造物や、地域住民によるまちづくりの取組等の事例を表彰するとともに、広く市民と共に景観・まちづくりについて考え、景観の保全・創造と質の高い住環境の形成など京都の魅力や個性を高めていくことを目的としている。

事業実施場所

事業種別

コンクール

事業制度

事業主体

（財）京都市景観・まちづくりセンター

事業実施年度

第1回：平成11年度
第2回：平成15年度

☆ 宇治市 ☆

炭山コーポラティブハウス建設事業



事業概要

- 炭山地域の伝統的な素材の開発、地場産業の育成
- 各戸のアイデンティティを創出（玄関アプローチ等に地元の陶器質タイルを使用。各住戸で独自の色合いを出す）
- 自然環境との調和
- 住民同士、住民と玩具館（炭山コーポラティブハウスに隣接して建設されている）を訪れる人々との交流

事業実施場所 京都府宇治市炭山大西1-1, 2-1
事業種別 個人住宅
事業制度
事業主体 炭山コーポラティブハウス建設組
合
事業実施年度 平成元年度

計画概要

戸建て個人住宅8戸
総敷地面積： 1,377.55㎡
総延べ床面積： 863.44㎡
総建築面積： 512.11㎡



大阪府

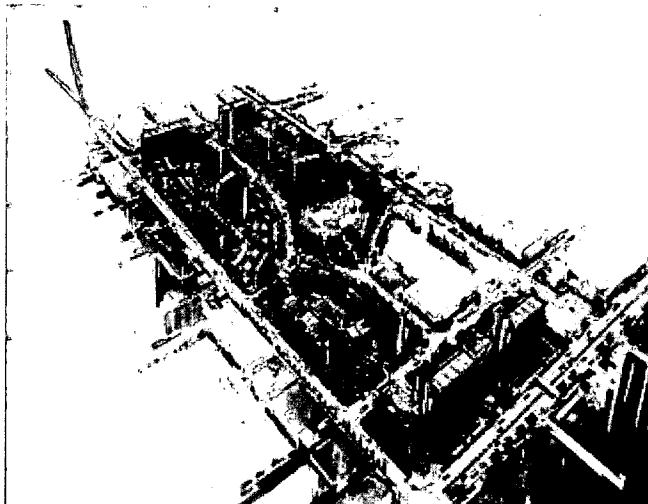
大阪府
HOPE賞受賞市町村

古市中住宅再生プロジェクト



事業概要

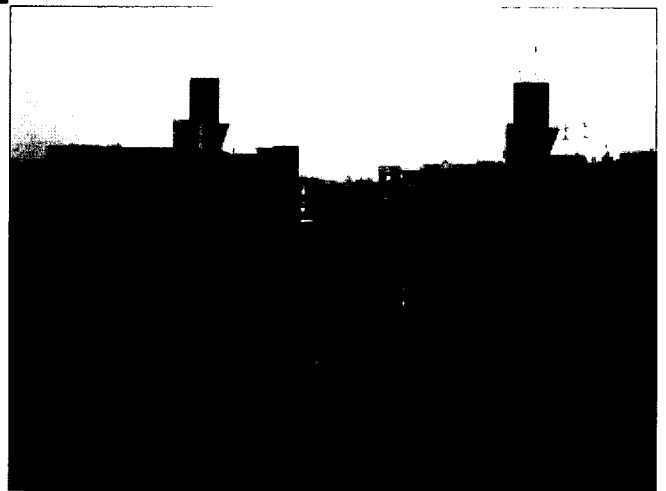
市営古市中住宅は戦後の公的住宅団地開発のモデルとなった団地であったが、建設後約40年を経過し、現在の水準から見ると、住戸規模も小さく、老朽化も進んできたため、平成6年度より建替事業を実施している。当住宅の建替事業にあたっては、旧住宅の計画の先進性を評価しつつ、21世紀に向けて建設する住宅として魅力ある都市居住を実現するため、良好な景観をそなえたアメニティ豊かな住宅形成地、生き生きとしたコミュニティの実現、今後の高齢社会にそなえた安全で住みよい住宅団地づくり、地球環境にやさしい住宅計画などの目標を設定して平成5年度に設計競技を実施し、地域特性にふさわしい定住性豊かな今後のまちづくりのモデルとなる新しい都市型集合住宅の開発に取り組んでいる。



計画概要

敷地面積	39,680.04㎡		
建築面積	11,661.656㎡		
延床面積	63,081.950㎡		
住戸数	845戸 (10棟)		
構造	RC、SRC造		
階数	4～14階建		
タイプ別住戸専用面積	2K	46.3～46.8㎡	219戸
	DK	56.3～63.6㎡	269戸
		67.2～71.6㎡	340戸
		66.9～70.5㎡	17戸
計	845戸		

事業実施場所	大阪市城東区古市2丁目
事業種別	町営住宅
事業制度	公営住宅整備事業
事業主体	大阪市
事業実施年度	平成6年度～平成18年度(予定)



平野郷HOPEゾーン事業



事業概要

大阪市のHOPEゾーン事業は、市内において歴史的なまちなみや景観などの地域の特性を活かし、魅力ある住宅地の形成を図る施策の一つとして進めている事業である。すなわち、「地域性・歴史性の発展継承と居住地の魅力づくり」に向け、特色ある居住環境を形成すべきゾーンを設定し、地域住民と協力しながら、アメニティ豊かな住宅・住環境の形成と誘導を図るものである。

平成8年度から、歴史的・文化的雰囲気を残す地域として「平野郷地区」を選定し、事業化に向けて現況調査や整備方針の検討、地域住民の意向把握等を行ってきた。

事業の実施にあたっては、そこに住み働いておられる住民の方々が参加し、その意見を代表する地元協議会が設立され、住民と行政が連携して、あるべき地区の「修景ガイドライン」を定めて進めている。

具体的には、建物や門・塀等の改修や新築についての「まちなみガイドライン」を定め、これに沿った建物等の改修工事費の一部に補助を行うとともに、道路・公園などの公共施設の修景整備を行い、歴史的なまちなみを活かした、良好な住宅地整備を進めようとするものである。

計画概要

面積 約80ha
人口 約13,000人

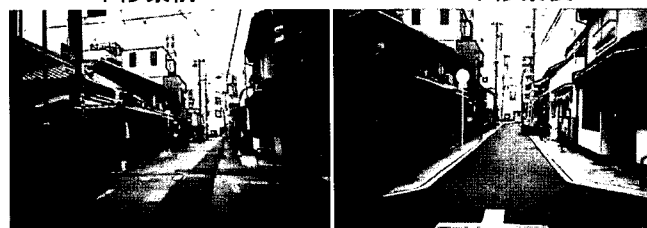
事業実施場所 大阪市平野区平野宮町1, 2丁目
及び平野市町3丁目及び平野上町
1, 2丁目及び平野本町1, 3,
4, 5丁目及び平野東1丁目1~
8番、2, 3丁目

事業種別 個人住宅、道路等
事業制度 街なみ環境整備事業
事業主体 大阪市
事業実施年度 平成11年度~平成20年度(予定)



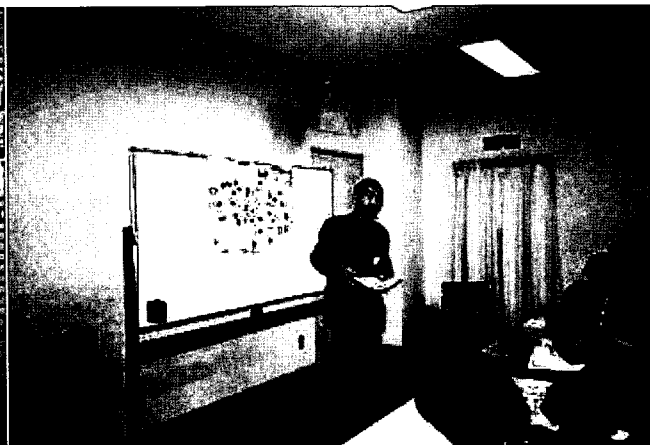
↑ 修景前

↑ 修景後



↑ 修景前

↑ 修景後





出石町

兵庫県

HOPE 廣受廣市町村

町営住宅日野辺団地



事業概要

日野辺団地が隣接する日野辺地区は、町の中心部から3km程度離れ、北側の山を背にした30戸程度の農村集落である。集落内を小川が流れ、道に沿って南面開放の土壁、切妻に赤茶系の瓦葺き屋根の家屋が並んでいる。敷地と道路の境界は素朴な野面石積をしてその上に生け垣をめぐらしている等集落独特の景観を醸し出している。

公営住宅整備にあっては、その景観特性を活かした全体的に農村集落のようなイメージの住宅団地を建設した。



計画概要

敷地面積	5,273㎡
建築面積	1,169㎡
延床面積	1,387㎡
構造・階数	木造平屋建及び木造2階建
タイプ別住戸戸数	戸建（平屋）3LDK 10戸 戸建（2階）3LDK 8戸
事業実施場所	出石町日野辺字水坂16-
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	出石町
事業実施年度	平成2年度～5年度



吉野町

奈良県

HOPE賞受賞市町村

☆ 吉野町 ☆

吉野 山灯り



事業概要

吉野町HOPE計画で提唱している「木のある暮らし」をうけ、木製の照明器具を通して木のある住空間を提案する。実施にあたっては、地場産材の業者（製材、手漉き和紙、割り箸）による実行委員会で運営し、「環境保全型ものづくり」をテーマに吉野山灯り塾とコンテスト展を開催している。参加者は京阪神地区を中心に広くは関東、中部地方からきていただき、交流をはかっている。



事業実施場所 吉野町内
事業種別 地場産材の活用
事業制度 吉野町HOPE計画
事業主体 吉野 山灯り実行委員会
事業実施年度 平成9年度から現在継続中

計画概要

地場産材（杉、桧、和紙、割り箸）を使った照明器具の作成塾およびコンテスト展の開催



高宮市
HOPE高宮市町村

「水と緑と文化のまちづくり」事業



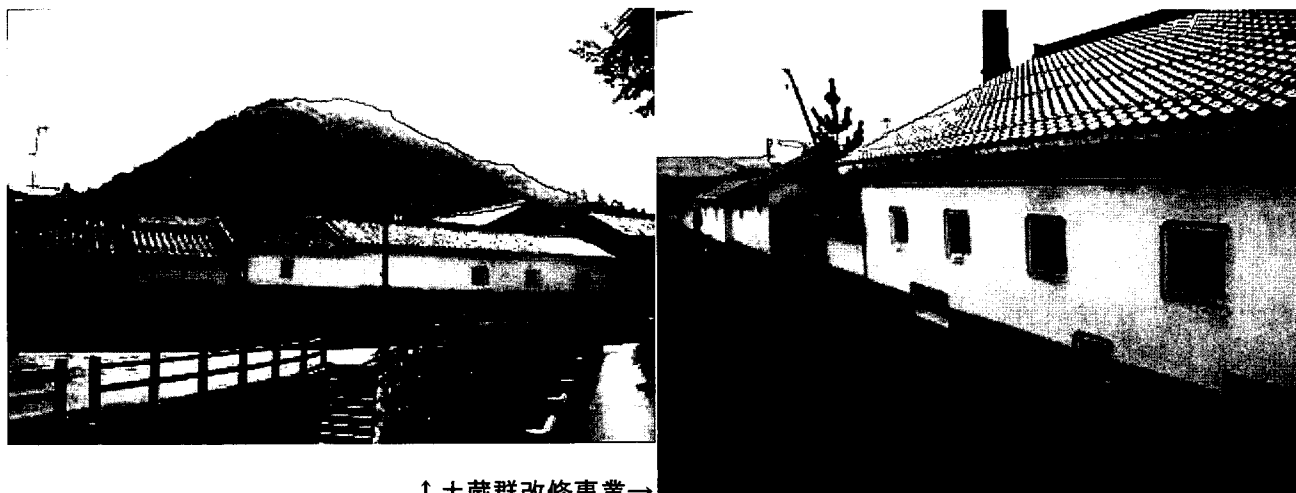
事業概要

伝統的建造物群保存事業では、町家、土蔵、石垣や一枚石の石橋など伝統的景観の保全、修景復旧に努めるとともに、地域の生活環境整備を促進し、地域文化による歴史的景観を活かした「まちづくり」を図り、町家を修景改修して、多くの人々が訪れる食事処やバリアフリーに対応した町家に生まれ変わった。

公衆トイレの整備は、土蔵風、数寄屋風、町家風など設置場所の景観を重視した形で整備。特に身障者、幼児連れや幼児などに配慮したトイレを現在までに29ヶ所を整備した。単なるトイレのみとせず場所に応じ公衆電話、バス待合所、休憩所を併せ持ち、なかには、まちづくりセンターを併設したものもある。

住環境整備では公営住宅建替事業により、県と市が同一歩調を取り、デザインを共有化、市営、県営の住宅を敷地面積2,260㎡の一団の土地に整備し、中層耐火建築物5階建、階段室型3棟の合計40戸を整備した。

中心市街地活性化では、第3セクターの緋赤瓦を立ち上げ、土蔵群の所有者の理解を得て、醤油醸造場のもろみ工場（150坪）を改造し、地域の特産品、民芸品の販売店やギャラリーなどからなる核店舗の1号館として整備。この他にも、土蔵群周辺の建物を利用して、地域の伝統文化を紹介、展示、販売、体験の出来る2～8号館を整備した。



↑土蔵群改修事業→

計画概要

昭和60年に策定した倉吉市HOPE計画、及び以降の倉吉市の基本構想「水と緑と文化のまちづくり」、「躍動のまち倉吉！輝く人、緑のまちづくり」、「遥かな町との出会い、新交流都市」に基づき、住環境の整備や文化的なまちづくりを進めてきている。

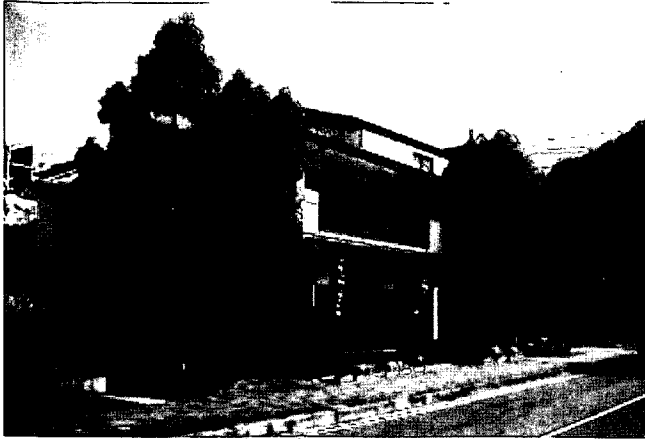
HOPE計画策定当時から「倉吉古い町並保存会」による土蔵群修復事業が行われてきたが、平成10年に打吹玉川地区が伝統的建造物群保存地区（面積 4.7ha）に指定された。これまでに改修されてきた玉川沿いの白壁土蔵群のほかに、表通りに建ち並ぶ屋根の赤瓦と出格子や庇の形状など地域文化の特性が活かされている町家を保存、修景することにより、町並が変貌しつつある地区の保全と景観を守る。

また、「トイレからのまちづくり」を行い、食文化に相対する排泄文化の汚いところからきれいにと、暗い、汚い、くさい、怖いというトイレのイメージを変え、安心して住みよい社会を創出し、今後の下水道整備の促進に寄与し、自然、生活、社会環境の向上につなげる。

住環境の整備では、老朽化が進み、居住水準が低い明治町2丁目の市営、県営の住宅団地を建替える。整備にあたり外観は白壁土蔵風とし、入居者同士のコミュニケーションを重視した住宅団地とする。

また、高齢化、空洞化が進む中心市街地商店街の活性化を目的として、白壁土蔵群周辺に「見る」「食べる」「買う」「休む」の4つの機能を持ち集客力のある施設を設けることにより、人の流れを創出し商店街の活性化につなげる。

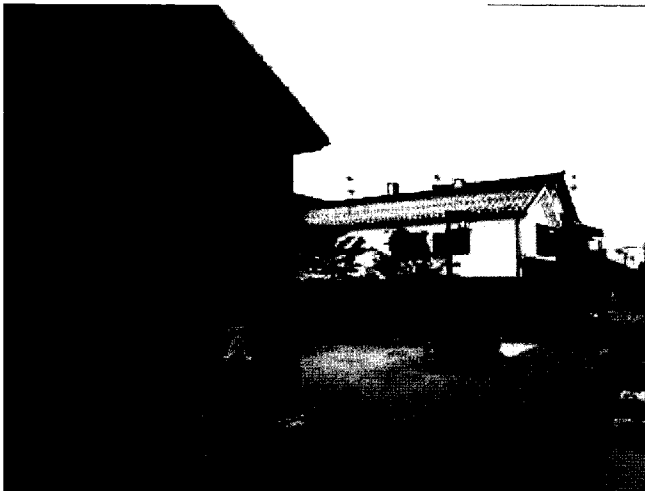
昨年開催したHOPE計画全国シンポジウムでは、小学生を含む地区住民が関わりを持ち、今後のまちづくり活動につなげた試金石となった。



↑町家風トイレ
(ポケットパークさわやかトイレ)



↑伝建群保存事業による町家改修例
(お食事処＝町家「清水庵」)

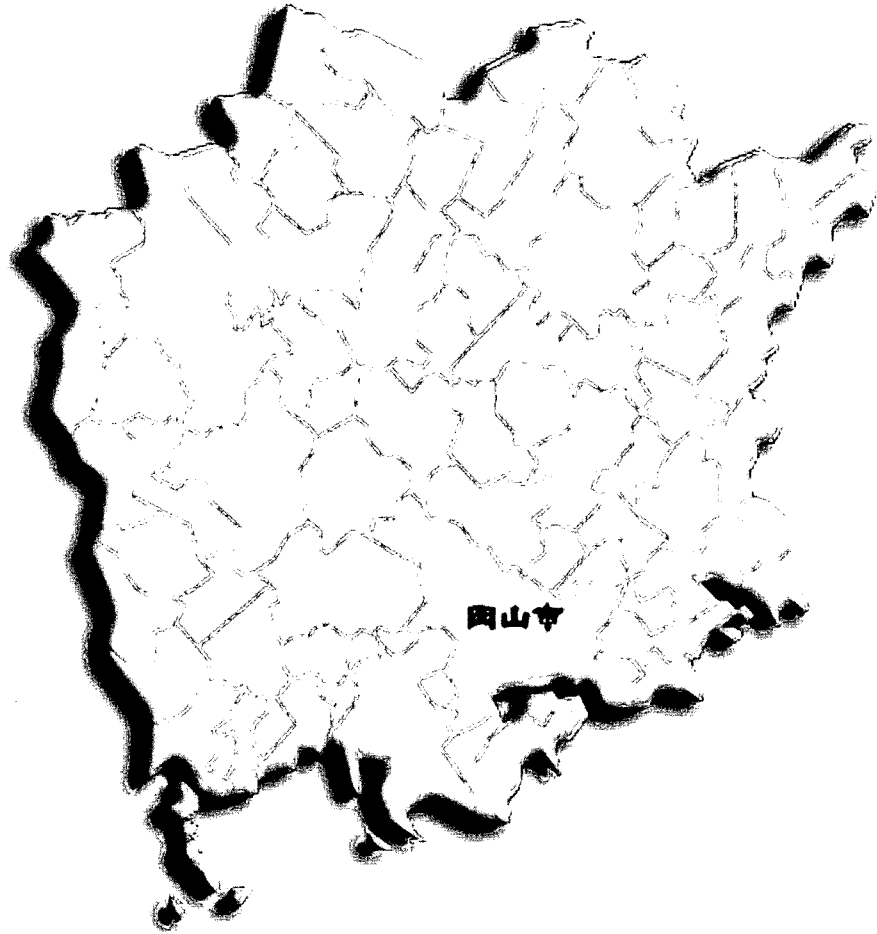


↑赤瓦1号館(旧醤油醸造場もろみ工場)



→土蔵風公営住宅(明治町2丁目住宅)

事業名称	景観保全修景	トルからのまちづくり	住環境整備	中心市街地活性化
事業実施場所	倉吉市東仲町他	倉吉市内各所	倉吉市明町2丁目	倉吉市新町1丁目
事業種別	建物修景	公共施設(公衆便所)	住宅団地	民間施設(店舗)
事業制度	伝統的建造物群保存事業	地域総合整備事業	公営住宅建替事業	先駆的商店街にぎわい創出事業
事業主体	地区住民、倉吉市	倉吉市	倉吉市、鳥取県	(株)赤瓦
事業実施年度	平成11年度から	昭和62年度～	昭和62年度～昭和63年度	平成9年度～平成10年度



岡山市

岡山县
HOPE新设新市町村

岡山市地域住宅計画（HOPE計画）推進事業支援制度



事業概要

足守地区では、計画策定の段階から、景観は「守る、創る、育てる」の3つの基本的観点から、「まちづくり」と「すまいづくり」について、地元住民が一体となって考え取り組んでいます。

ともすれば町並保存に観光開発が先行すると、そこに住む人々の生活がないがしろにされる等の点に配慮しながら、住まいの問題、町並保存、観光開発の共存を実現していくための方策を検討し、目標に向かって地域住民で取り組んでいます。

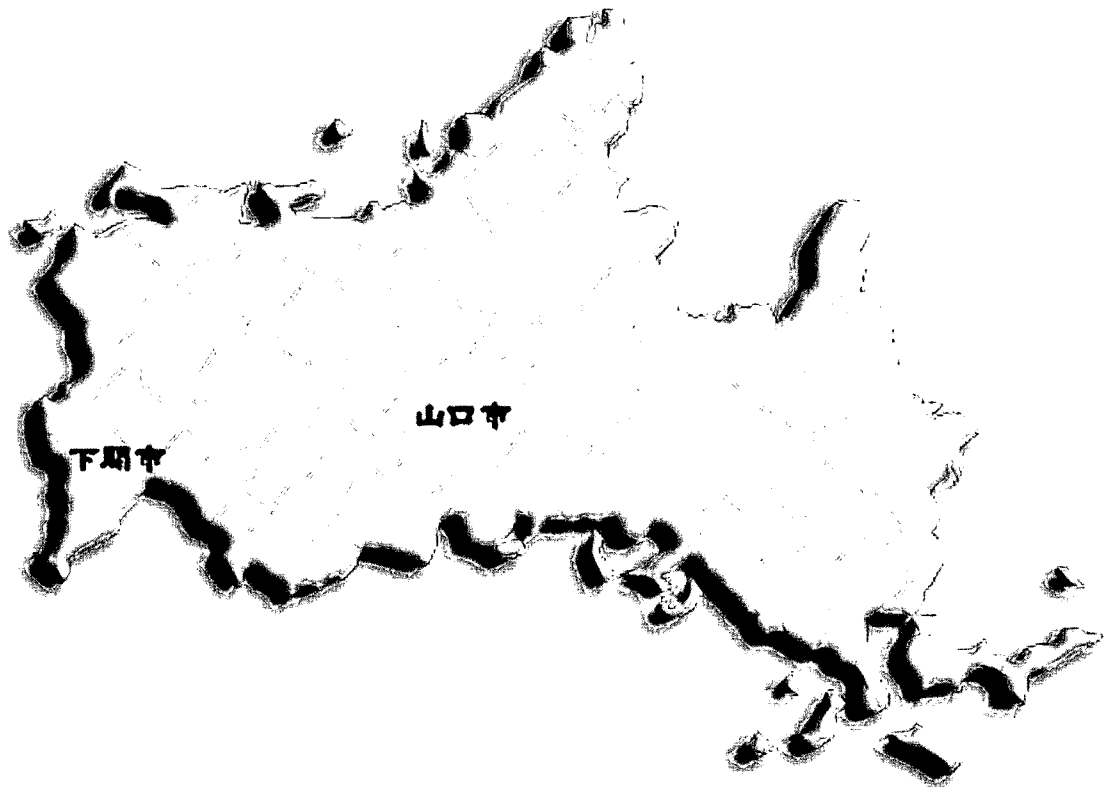


計画概要

足守地区では、地元住民と岡山市が一緒になって伝統的まちづくりに取り組んでいます。

- これまでに、まちなみ整備のために投資された金額は、公共施設関連投資が約7億円、民間による改修投資費は約2億円で、これまでの公民による資金投入によって、目に見える部分でのまちづくりが展開されています。
- 公共施設整備以外の民間改修事例を具体的にみると、家屋改修事例は63例（内訳：HOPE計画に基づく改修・生活改善事例34例、町並み保存による民家改修事例29例）となっており改修住戸数は45住戸に及んでいます。
- 改修内容の詳細については、45住戸中、新築が14件、改築（主要構造材を残す方法）13件、修繕（外部・内部）18件となっている。外観の改修状況については、前述の新築14件、外観改修30件となっています。（平成10年8月現地調査）
- ※HOPE計画補助実績（平成元年から現在）：43件

事業実施場所 岡山市足守地区
事業種別 個人住宅
事業制度 足守地区町並み保存
住宅改善事業
事業主体 岡山市
事業実施年度 昭和61年4月5日～現在に至る。



山口県
HOPE圏内市町村

平成5年度公営住宅白雲台団地（仮称）
1・2種高層新築工事



事業概要

集まって住むのが集合住宅である以上、そこには集まって住む楽しさがなくてはならない。また、公共建築としての集合住宅であるなら、生活及び地域的コンテクストへの配慮は当然のこととして、住み手にだけ閉じられた集主体ではなく、周辺＝街に対して開かれた関係をもたなくてはならない。

東に関門海峡、関門橋、西には響灘が広がり、絶好の眺望をもつ白雲台という固有の敷地に対して、住み手が自分たちの集主体への誇りと帰属意識をもてるような、そして楽しい生活が展開するという期待と夢をいただけるような集主体の創出を本計画で演出している。



計画概要

敷地面積	3,440.99㎡
建築面積	1,118.62㎡
延床面積	3,773.93㎡
構造	RC
型式	積層型
タイプ別住戸数・面積	Aタイプ = 67.0㎡ Bタイプ = 67.0 Cタイプ = 66.5㎡ Dタイプ = 68.3㎡ Eタイプ = 67.3㎡ Fタイプ = 66.5㎡
住戸戸数・階数	40戸 7階建

事業実施場所	下関市上田中町8丁目18
事業種別	公共施設
事業制度	公営住宅事業
事業主体	下関市建設部住宅課
事業実施年度	平成5年～平成10年度

山口市住宅マスタープラン推進事業
(NPO法人山口まちづくりセンター活動)



事業概要

1. 住まいづくり・まちづくり支援調査研究活動
 - ・古民家調査、情報収集活動
 - ・民家再生相談、提案
 - ・スケルトン定借住宅の研究、事業実施調査
 - ・山口型住まいの研究・住まいの相談、住まい講座
 - ・共生のまちづくりワークショップ・建物につけられた彫刻の写真展
 - ・一の坂川周辺地区の色彩現況調査
 - ・まちづくり団体への協力支援
2. 情報収集発信事業
 - ・住まい・まちづくりの情報の収集
 - ・まちづくり情報誌の発行・ホームページ等による情報発信
 - ・各種まちづくり会議等への参加
3. まちづくりの推進を図る活動に関連する受託事業
 - ・山口市住宅マスタープラン推進事業
 - ・山口市地域情報発信事業・大内文化まちづくり調査研究事業
 - ・古甲川単独河川整備基本方針調査事業



事業実施場所	山口市銭湯小路17-1
事業種別	個人住宅、民間施設等
事業制度	特になし
事業主体	山口市 特定非営利活動法人 山口まちづくりセンター
事業実施年度	平成10年10月事業開始 平成12年11月NPO法人認証

